

石川県から県境を見れば

公共交通を守る石川の会 中川裕二

1. 第3セクター開業(北陸新幹線金沢開業)に伴う石川県の問題点

- ① 県内が分離される
 - ・ 金沢駅←→富山県境 第3セクター(20.6km)
 - ・ 金沢駅←→福井県境 JR(約51km)
 - ・ 七尾駅(津幡～和倉温泉駅 59.5km)の扱いと、のと鉄道(和倉温泉～穴水)
- ② そのことより
 - ・ 運賃が割高になる。(金沢以西例えば小松→金沢→津幡→七尾)3度の初乗り運賃加算運賃格差が生じる。
 - ・ 運行・ダイヤ、乗り入れ等の問題
 - ・ 指令、車両基地、検修、設備等の問題が発生してくる。

2. 石川県から県境をみれば

- ① 第3セクターでの県境は富山県のみで、金沢以西はJRが運営。
- ② 県が実施した旅客流動調査 OD調査(2007.11.13火)によると
 - ・ 終日・全列車利用総数は67,377人(夜行列車は除く) 普通-70% 特急-30%
 - ・ 普通列車では、県内～富山県方面 5,321人 11.3%
北陸本線～富山県11.1% 七尾線～富山県方面 0.2%
 - ・ 普通列車では県内～福井県方面 1,964人 4.2%
 - ・ 特急列車では 富山県方面 20% 福井県方面 47% 県内通過 28%
 - ・ 当然、新幹線開業時、10年後の利用者は減少する。
- ③ 運賃が割高になる
 - ・ 北陸本線金沢以西(JR)→金沢→(石川県3セク)石川県境→富山方面(富山県3セク)
 - ・ 北陸本線金沢以北(石川県3セク)→石川県境→富山方面(富山県3セク)
 - ・ 七尾線(?)→津幡(石川県3セク)→石川県境→富山方面(富山県3セク)
 - ・ 2度、3度の初乗り運賃になり割高となる。当然定期も割高になる。
- ④ 利便性の問題
 - ・ 指令、運行、ダイヤ等各県の事情により一体性・一貫性がなくなる(接続・待合時間帯)
 - ・ 運賃が割高になる。県ごとの運賃格差がでてくる。
- ⑤ 災害時・異常時の対応と車両の運用
 - ・ 事故などの対応で各県毎の指令に分かれていると円滑にコントロールできない。
- ⑥ 車両基地、検修施設、その他の設備維持管理に大変なコストがかかる。
- ⑦ 県単位では国、JRに対してものをいっても力にならない。